

令和 6 年 度
(2024年度)

保育所要覧

京田辺市立南山保育所

京都府京田辺市三山木南山63

TEL 0774-62-3641

FAX 0774-62-3642

沿 革

1974年（昭和49年）	12月	建設着工
1975年（昭和50年）	3月	保育所竣工
	6月	専任所長配属
1978年（昭和58年）	9月	西側保育室のトイレ改修 両保育室のトイレ・汚物洗い取付け工事
1990年（平成2年）	4月	時間外保育開始 （月～金 8：00～18：00） （土 8：00～16：00）
1991年（平成3年）	4月	陶器食器使用開始 時間外保育に正規職員が入る
1992年（平成4年）	4月	時間外保育から延長保育に呼び名変更
1993年（平成5年）	7月	休憩室完成
1994年（平成6年）	4月	産明け保育開始 延長保育時間変更 （月～金 7：00～19：00） （土 7：00～16：00）
		下水道工事完成
1996年（平成8年）	5月	両保育室屋根葺き替え工事
1997年（平成9年）	4月	市制施行に伴い京田辺市立南山保育所 となる 同和加配から家庭支援推進保育士に呼 び名変更
1998年（平成10年）	8月	両保育室全面内装工事完成
2001年（平成13年）	8月	職員室全面改装工事完成
2006年（平成18年）	4月	こども安全安心連絡網システム開始 インターフォン設置
	9月	廊下天井壁張り替え
2008年（平成20年）	7月	西側保育室横倉庫内ガス台撤去 調乳室ガス湯沸かし器撤去
2015年（平成27年）	11月	職員トイレ改装工事完成
2018年（平成30年）	8月	ブロック塀解体工事完成

京田辺市立保育所 保育課程

第1 保育理念

一人一人の子どもの最善の利益を考慮し、家庭や地域との連携を図り、共に育ち合うためのふさわしい生活の場を目指す。

第2 保育方針

緑豊かな自然と潤いのある文化の中で、養護と教育が一体となった保育を通して、健やかな育ちを支え、生きていく力の基礎を培う。

- ・ 子どもの人権に十分配慮するとともに、子ども一人一人の人格を尊重して保育を行う。
- ・ 地域社会との交流や連携を図り、保護者や地域社会に保育所が行う保育の内容を適切に説明するよう努める。
- ・ 一人一人の子ども等の個人情報を適切に取り扱うとともに、保護者の苦情などに対し、その解決を図るよう努める。
- ・ 研修や自己研鑽を通して、職員一人一人が、常に自らの人間性と専門性の向上に努め、専門職としての責務を果たす。

第3 保育の目標

1. 保育所は、子どもが生涯にわたる人間形成にとって極めて重要な時期に、その生活時間の大半を過ごす場である。このため、保育所の保育は、子どもが現在を最も良く生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を培うために、次の目標を目指して行う。
 - (1) 十分に養護の行き届いた環境の下に、くつろいだ雰囲気の中で子どもたちの様々な欲求を満たし、生命の保持及び情緒の安定を図ること。
 - (2) 健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培うこと。
 - (3) 生活の中で、言葉への興味や関心を育て、話したり、聞いたり、相手の話を理解しようとするなど、言葉の豊かさを養うこと。
 - (4) 人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にすることを育てるとともに、自主、自立及び協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培うこと。
 - (5) 生命、自然及び社会の事象についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の芽生えを培うこと。

(6) 様々な体験を通して、豊かな感性や表現力を育み、創造性の芽生えを培うこと。

2. 保育所は、入所する子どもの保護者に対し、その意向を受け止め、子どもと保護者の安定した関係に配慮し、保育所の特性や保育士等の専門性を生かして、その援助に当たる。

第4 保育の方法

1. 一人一人の子どもの状況や家庭及び地域社会での生活の実態を把握するとともに、子どもが安心感と信頼感を持って活動できるよう、子どもの主体としての思いや願いを受け止める。
2. 子どもの生活リズムを大切に、健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境や、自己を十分に発揮できる環境を整える。
3. 子どもの発達について理解し、一人一人の発達過程に応じて保育すること。その際、子どもの個人差に十分配慮する。
4. 子ども相互の関係作りや互いに尊重する心を大切に、集団における活動を効果あるものにするよう援助する。
5. 子どもが自発的、意欲的に関われるような環境を構築し、子どもの主体的な活動や子ども相互の関わりを大切にする。特に、乳幼児期にふさわしい体験が得られるように、生活や遊びを通して総合的に保育する。
6. 一人一人の保護者の状況やその意向を理解して、受容し、それぞれの親子関係や家庭生活等に配慮しながら、様々な機会をとらえ、適切に援助する。

南山保育所の 保育目標

『すべての子どもたちが 豊かに 健やかに育ちあう』

1. 基本的生活習慣の確立を図り、情緒の安定と生きる力の基礎を培う。
2. 遊びや生活の中で好奇心・探求心・思考力を養い、豊かに表現する力を養う。
3. 豊かな人間関係の中で、自尊感情と他者への信頼感を育み、人と関わる力を育てる。
4. 様々な方法を通して食育を進め、健康づくりや健康支援を行う。
5. 入所児の保護者支援と地域の子育て支援を推進していく。

お友だちがいっぱい、新しい生活

お花の咲いたお庭で砂遊び

れんげ、たんぽぽ野原の散歩

春

おたまじゃくしやカエルもいるよ

お空に泳げ！みんなで作ったこいのぼり

雨の日のままごと積木もたのしいな

お星さま、七夕飾りが見えるかな

おにわで元気にどろんこ遊び

夏

色水遊びに しゃぼんだま

お水も平気、プール大好き

みんなで野菜育てたよ

かけっこ、玉入れ運動会

秋

どんぐりいっぱいみ～つけた

きれいな落ち葉をひろったよ

野山の探検、いっぱい歩こう

きれいな色でえがいたよ

お客さんいっぱい発表会

サンタさんがやってきた

冬

たこあげ、羽根つき、鬼ごっこ

かるたにトランプ、福笑い

マラソン、縄跳びがんばりました

いろんな歌をおぼえたよ

保育所での一日

(月曜日～金曜日)

時 間	乳 児
7 : 0 0	開所 (順次登所)
8 : 3 0	視 診
9 : 0 0	あ そ び
9 : 3 0	おやつ (牛乳)
1 0 : 0 0	あ そ び
1 1 : 0 0	給 食
1 2 : 0 0	お ひ る ね
1 5 : 0 0	お や つ
1 6 : 0 0	降 所 開 始
1 6 : 3 0	延 長 保 育 開 始
1 9 : 0 0	閉所 (延長保育終了)

(土曜日)

時 間	乳 児
7 : 0 0	開所 (順次登所)
8 : 3 0	視 診
9 : 0 0	あ そ び
9 : 3 0	おやつ (牛乳)
1 0 : 0 0	あ そ び
1 0 : 4 5	給 食
1 1 : 0 0	降 所 開 始
1 1 : 3 0	延 長 保 育 開 始
1 6 : 0 0	閉所 (延長保育終了)

☆時間は大まかな目安です。行事によって多少の変更はあります。

入所児童の状況

令和6年4月1日現在

定員 40名

年 齢	0歳児	1歳児	2歳児	合計
クラス名	もも組	りんご組	めろん組	
在籍数	0	0	12	12
家庭数	0	0	12	12

*通常保育時間

平 日 午前8時30分から午後4時30分まで
土曜日 午前8時30分から午前11時30分まで

*延長保育時間

平 日 (朝) 午前7時から午前8時30分まで
(夕) 午後4時30分から午後7時まで
土曜日 (朝) 午前7時から午前8時30分まで
(夕) 午前11時30分から午後4時まで

年 間 行 事 計 画 表

月	保育行事	保健	保護者会
4	こどもの日のつどい		保護者会費徴収
5		内科健診	
6	保育参観 歯のつどい 消防書と合同避難訓練	尿検査 歯科検診	
7	水あそび開始 七夕まつり		夏まつりごっこの景品準備
8	夏のあそび		
9	秋祭り		
10	運動会 園外保育（バス遠足） 個人懇談 芋掘り（園内）		
11	ふれあいコンサート 勤労感謝のつどい 消防署との合同避難訓練	内科健診 歯科健診	
12	生活発表会・クラス懇談会 クリスマス会		クリスマスプレゼントの準備
1	子ども新年会 給食参観 ふれあい人形劇		
2	節分、絵画展 マラソンごっこ 2歳児交流		修了記念プレゼントの準備
3	ひなまつり お別れ会 保育参観 保育証書授与式		保護者会活動 まとめ
毎月	・身体測定・誕生会・避難訓練・ふれあい保育		
	・ふれあい広場（6月・11月・2月 第2金曜日） ・つながりタイム（不定期・保護者交流） ・おもいでひろば（7月より月1～2回・閉所に向けての展示、園児との交流など）		

職 員 体 制

令和6年4月1日現在

職 名	人 数	備 考
所 長	1	
所 長 補 佐	1	
家 庭 推 進 保 育 士	1	
フ リ ー 保 育 士	1	
保 育 士 0 歳 児 (も も 組)	0	
保 育 士 1 歳 児 (り ん ご 組)	0	
保 育 士 2 歳 児 (め ろ ん 組)	2	
用 務 員	1	
調 理 師	1	
パ ー ト 職 員	3	朝・夕延長保育、土曜保育 職員の休憩代替
園 医	濱口 賢子	内科担当
園 医	大畑 正人	歯科担当

南山保育所 施設平面図



位置図

